第234回　定例会より

ここが聞きたい　市政をただす

質疑・一般質問

12月9、10、13日の本会議では、質疑8名、一般質問16名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。（掲載についてはどちらかを選択、発言順に掲載）

質疑

北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について

黒田秀一　議員
（清風会）

問　4，900万円余りの変更契約だが、いままでにこのような多額の変更契約がなされたことがあったのか。床暖房等の生徒に対する甘えがよく体が悪くなったりする原因ではないかと思うが、教育委員会の方針か。ミストユニットは、変更契約ではなく物品納入で別件ではないか。自転車置き場について、北条は徒歩が基本だと思うが、どういう要請があったのか。

答　過去にはないと報告を受けています。設計変更及び契約変更に関しての取扱要領で、変更見込額が請負代金の30％を超える場合は別件で契約すると規定しており、この案件についてはこの範囲内です。床暖房は厳しく育てていく風潮に逆行するのではないかという趣旨だと思いますが、保健室、特別支援学級に入っている子どもたちにとって、より豊かで生活しやすい環境をつくっていくことも大事で、環境に配慮した部屋をつくっていくという方向で行いました。ミストユニットは、豊かな教育環境整備の一貫として、新築に合わせて非常に厳しい暑さの中でより快適な学校生活を維持していこうとしたものです。駐輪場については、芝自治区や尾崎団地等から通学する親御さんから自転車通学にしていただきたいという要望があったと聞いています。

一般質問

市長選挙について

桜井光男　議員
（加西想政クラブ）

問　中川市長は来年6月16日に任期満了を迎えるが、平成17年7月3日の市長選挙で初当選され、2期5年半余り経つが、市長としての思いは。また、来年の選挙に再度立候補されるのか。

答　普通なら2期8年が区切りだと思っていますが、私から見ると安直な百条委員会の決定に基づいて、不本意ながら失職することになり、いまもって悔しさがあります。逆にそれをばねにこの5年頑張ってきたと思います。市長選挙を意識してか、事実に反する誤った情報が飛び交っており、まことに残念かつ心外です。私の施政方針や熱意をいまの市議会でなかなか理解、賛同いただけないことに嫌気が差すこともありますが、差し当たってはいまの任期を全うすることが私の役割だと思っています。任期満了までに果たすべき難問が山積しており、必死に取り組んでいる状況です。これまでの中川市政については、議員、市民の受けとめ方、評価はさまざまだと思いますが、自分の思い描く理想的なスピードではないものの、通常2期8年かかってもなかなかできない成果を上げていることも事実だと思います。次期市長選への出馬は未定です。私への評価や、改革路線を続けていいのか、水道料金値下げの是非、民間委託の推進についても、市民に投げかけしながら、進むべき道を3月議会までには決めたいと思います。

少子化と人口減対策についての提案

山下光昭　議員
（無所属クラブ）

問　人口減対策には、「働きやすい」「暮らしやすい」そして「魅力ある加西市」が求められる。私は、雇用対策、定住対策、住宅対策、未婚者対策、総合力の発揮できる体制の5つの提案をしたが、小野市が三洋電機に持ち込んだ、「住むならやっぱりおの」のパンフレットには、①中学3年生まで医療費が完全無料、②北播磨で一番安い上下水道料金、③神戸・大阪まで1時間、市内にコミュニティバスが巡回等、5つのポイントが書かれている。住むところを選べる人には、小野に住みた